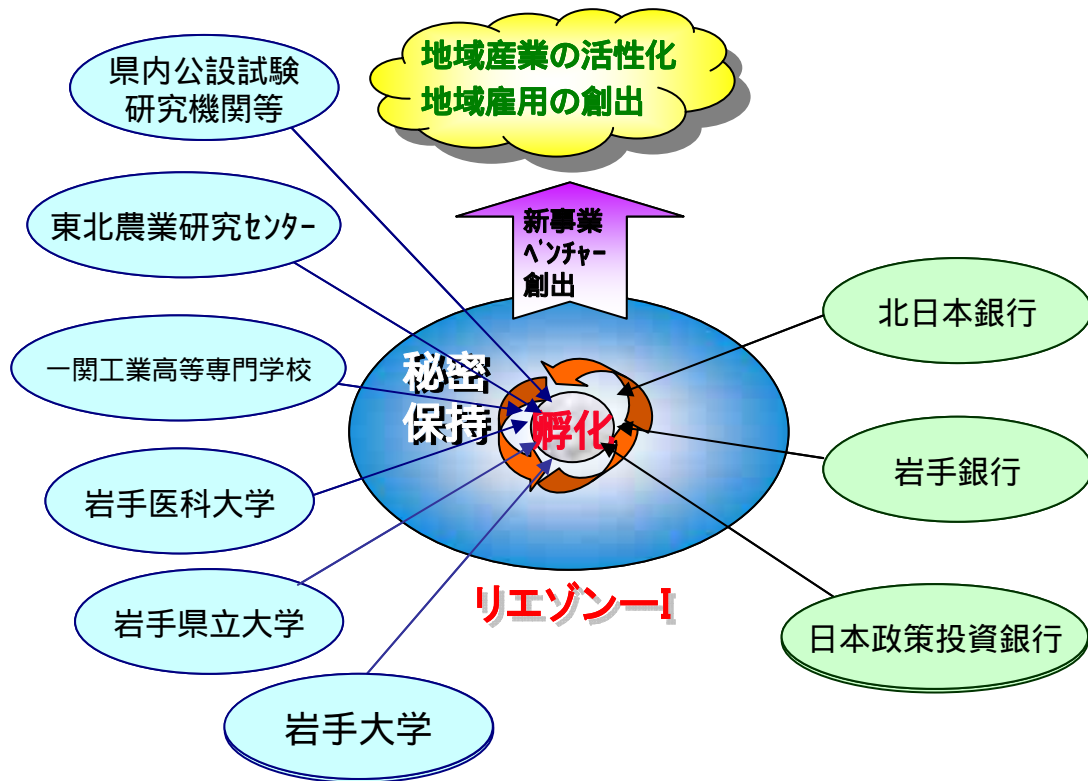

産学官連携の地域展開

多様化する共同研究の取組・展開事例（岩手大学）

岩手大学では**岩手県全ての大学等研究機関及び金融機関と連携し**「いわて産学連携推進協議会（リエゾナーI）」を設立し、地域に根ざした大学として地域づくりに取り組んでいる。

- ・県内10研究機関の研究シーズを冊子にとりまとめ、HP上でも公開
- ・金融機関の行員が研究シーズ集を持参し、企業等に紹介
- ・リエゾナーI マatchingフェアの開催
- ・金融機関が産学共同研究企業に対し、200万円/社（総枠1.5千万円/年）を上限とする助成制度「リエゾナーI研究開発事業化育成資金」により支援



ファンド支援・製品化事例

第1回（平成17年6月30日）育成資金贈呈
 企業名：株式会社アイカムス・ラボ
 共同研究機関：岩手大学
 事業計画名：マイクロメカニズムの開発
 計画の要約：プラスチックマイクロ歯車を用いた小型減速装置をコア技術として、各種マイクロメカニズムとその応用製品を開発する。
 贈呈金額：150万円



大手交換レンズメーカーが採用し製品化

- ・測量機、試験機械等でも製品化
- ・医療機器関連や農業機械関連へ応用展開を計画

マッチングの事例

雷キノコ ～ ナノ秒パルス高電界のキノコ増産



- H18 **リエゾナーIマッチングフェア**で岩手大学高木准教授と企業3社がマッチング
- H19 うち2社と共同研究を開始
 中小企業育成ファンド、JSTニーズ即応型等の資金を獲得して実用化研究を推進
- H22 群馬県、愛知県、熊本県の企業とも共同研究開始

全国に展開

海外からも問い合わせ

多様化する共同研究の取組・展開事例（東北大学）

東北大学では**仙台市の「御用聞き型企业訪問事業」**へ**大学教員を派遣し**、地域中小企業から1,000件以上の技術相談に対応し、製品化・実用化できない最後の数%の技術課題を大学教員が抽出し、問題設定・解決支援することにより製品化・実用化に取り組んでいる。

仙台市が平成16年度より開始した事業
(平成23年1月現在, 本学堀切川教授をはじめ5名の教授または准教授が仙台市地域連携フェローに就任)



(写真: 工学研究科 堀切川教授)

御用聞き型企业訪問 支援企業: 累計421社 (平成22年12月末現在)

仙台、宮城地域を中心に、「何か困っていることはありませんか」という姿勢で大学教員と企業OB, 仙台市等のチームで中小企業を訪問し、**助言, 技術指導, 研究開発支援**等を行っている。

短期間に多数の成功事例を生み出す新しい地域産学官連携
スタイル「**仙台堀切川モデル**」として全国的に知られている。

寺子屋せんだい

開催回数:
累計65回

地域連携フェローのコーディネートによる
地域企業技術者向けの**セミナー**を実施。
講演を行った後、参加者と**交流**を行っている。

製品開発等実績 累計32件 (平成21年度末)



開発事例

防滑防水一体成形靴



高圧絶縁電線自動点検装置

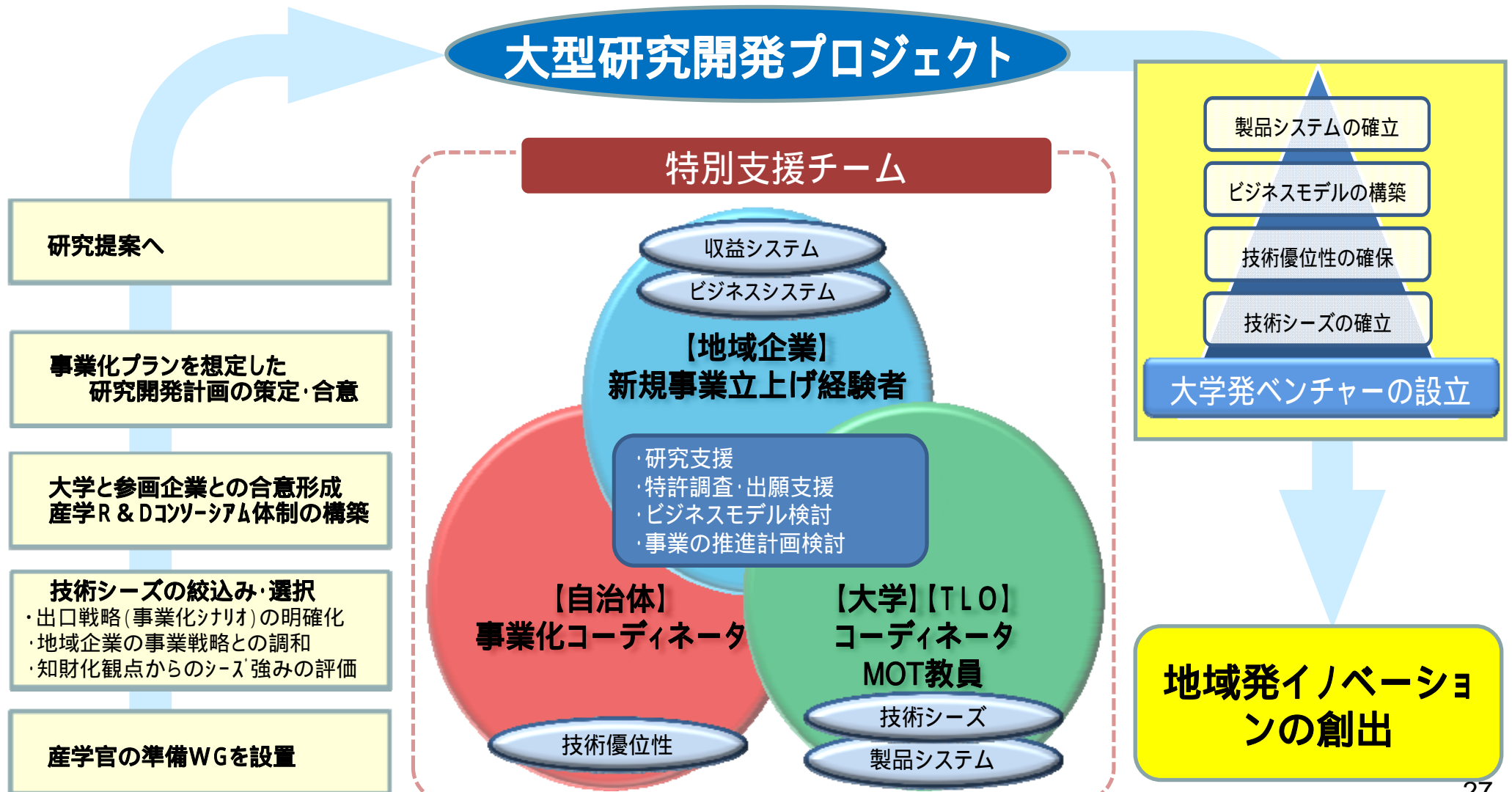


リサイクルプラスチックを用いた車輪止め



多様化する共同研究の取組・展開事例（山口大学）

山口大学では、地域企業及び公設試等の自治体と**特別支援チーム**を編成し、地域産業の発展を目指した**大型研究開発プロジェクト**のプロモーションに取り組んでいる。



地域の自治体、大学等と連携して産学官連携活動を推進している取組例（静岡大学・豊橋技術科学大学）

静岡大学・豊橋技術科学大学では愛知県東部から静岡県に至る地域の産業発展のために、**大学、自治体等とネットワークを構築**し、各参加機関が保有する知的財産の産学官連携への活用支援に取り組んでいる。

東海イノベーションネットワークの役割

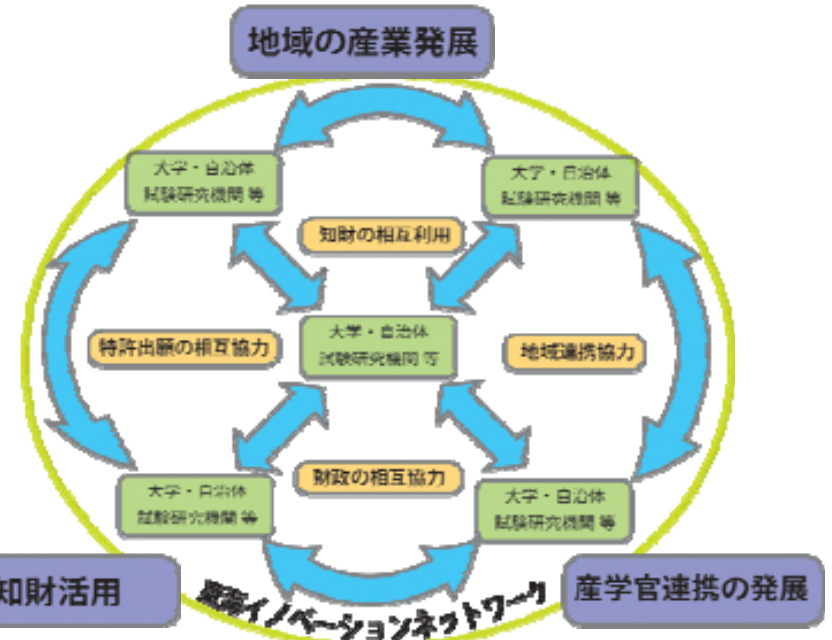
大学・試験研究機関・自治体による産学官連携の場の形成
 知財担当者の交流による大学・自治体の人材育成
 拠点校を中心として近隣の大学等の産学連携活動を支援
 知財人材雇用のための連携
 地域の異分野を融合する連携事業の構築

オープンイノベーション

・知財情報の共有による産学官連携推進

地域イノベーション

・地域一体のプロジェクト推進による産学官連携推進



地域連携・大学間連携

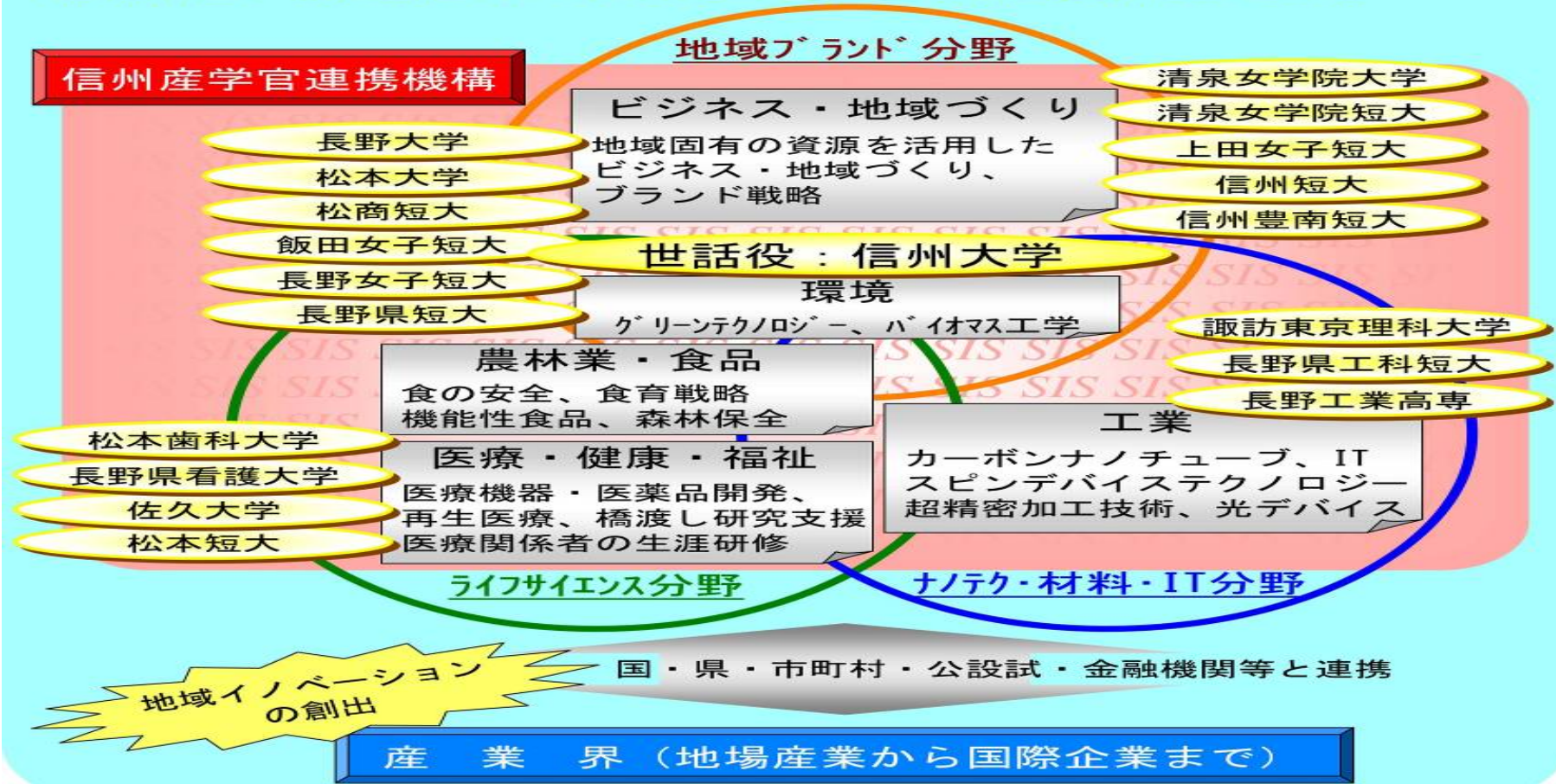
東海イノベーションネットワークにおける連携大学等
 連携自治体 静岡県、愛知県等の7自治体
 基幹校 静岡大学、豊橋技術科学大学
 連携校 地域の14機関

東海i NETにより、知財基盤整備が不十分な研究機関へのサポート、大学間の情報共有化、自治体・地域企業との連携、地域クラスター間の連携を円滑に進めることが可能となるとともに、連携機関同士の人材交流により若手人材の育成を推進

地域の産学官連携戦略に基づき産学官連携活動を推進している取組例（信州大学）

信州大学では**大学及び地域の産学官連携戦略に基づき**、長野県内の他の18大学等と連携して「信州産学官連携機構」を設立した。この機構ではナノテク・材料・IT分野、ライフサイエンス分野、地域ブランド分野の3分野を中心に活動を展開しているのみならず、**分野を超えた連携も推進し**、地域のイノベーション創出に向けた取組を行っている。

信州産学官連携機構は、分野の特長・特殊性を鑑みた知財の創出・管理・活用や産学官連携をマネジメントした上で、有機的に分野融合を図る

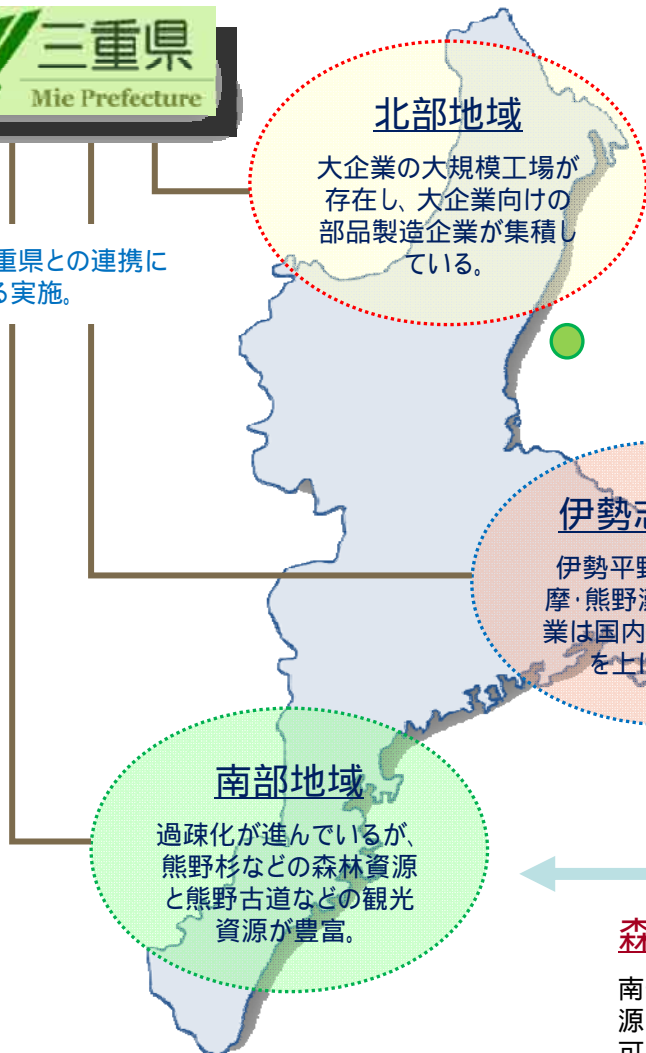


地域の特性に応じた産学官連携活動の取組例（三重大学）

三重大学では県内特性に合わせて設定する地域活性化プロジェクトを推進することで産学官連携で結果を出す仕組みの定着に向けた取組を行っている。



三重県との連携による実施。



北部地域

大企業の大規模工場が存在し、大企業向けの部品製造企業が集積している。

健康・福祉産業活性化プロジェクト

北部地域は大企業向けの部品製造企業が集積しているが、各企業の自立発展には大企業依存からの脱却が必須である。このため各企業の医療産業等への進出を支援する産学官連携事業を実行する「仕組み」を構築し、定着させる。

伊勢志摩地域

伊勢平野の農業、志摩・熊野灘沿岸の水産業は国内でも高い実績を上げている。

農水産業活性化プロジェクト

伊勢平野の農業、志摩・熊野灘沿岸の水産業は国内でも高い実績を上げている。この地域の農業、水産業の競争力をさらに高めるための産学官連携事業を実行する「仕組み」を構築し、定着させる。

南部地域

過疎化が進んでいるが、熊野杉などの森林資源と熊野古道などの観光資源が豊富。

森林・里山活性化プロジェクト

南部地域は高齢化と過疎化が進んでいるが、熊野杉などの森林資源、熊野古道など観光資源が豊富である。このため観光産業・林業の活性化を図り、地域に住民が住み続けることを可能にするための産学官連携事業を実行する「仕組み」を構築し、定着させる。

